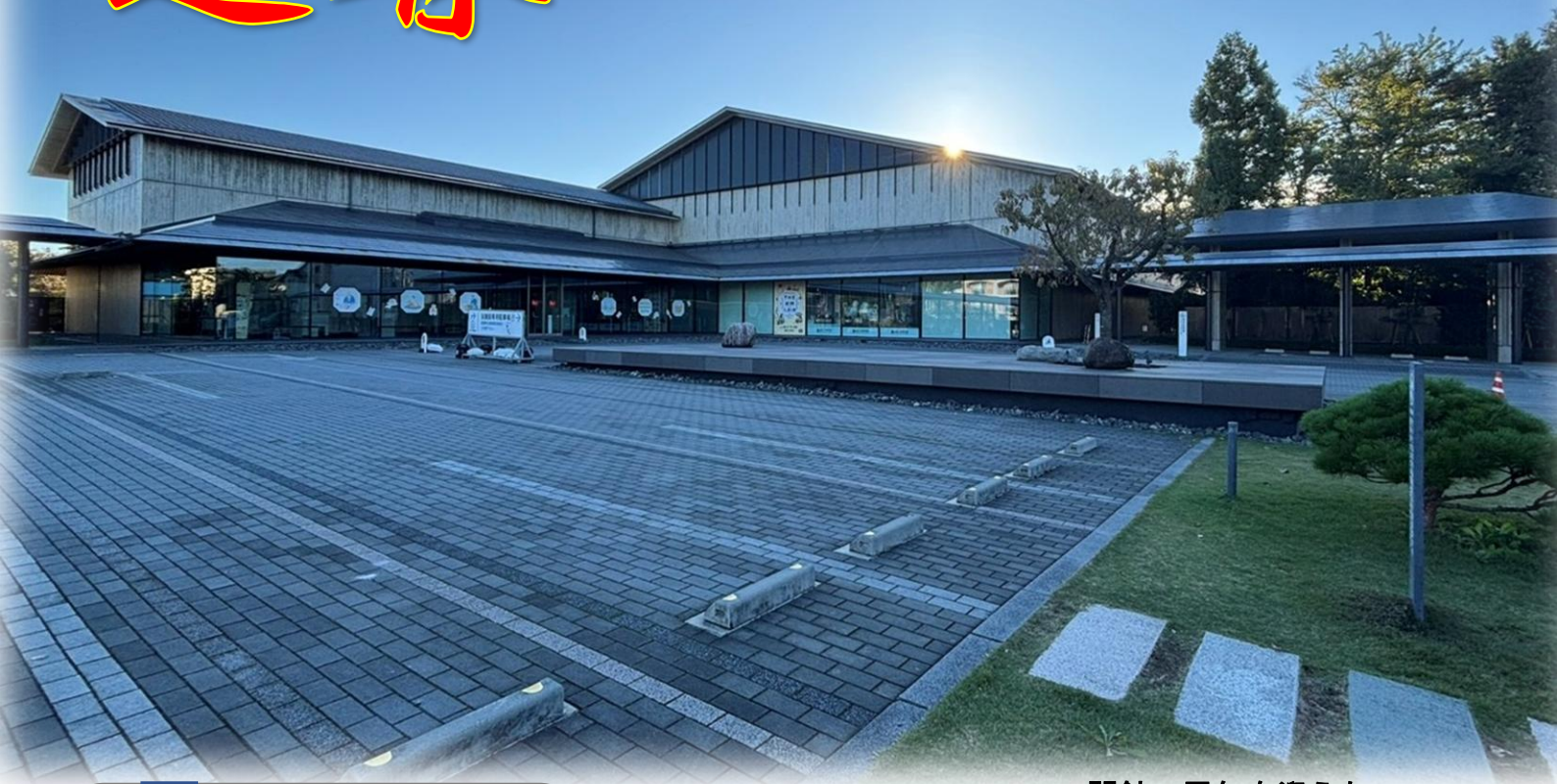


さいたまシルバー



迎春



開館5周年を迎えた
岩槻人形博物館

Content

- 2 理事長挨拶
- 3 市長挨拶
- 4 上半期事業実績
- 5 講習・研修
- 8 会員紹介
- 9 お客様の声
- 11 地域班
- 12 親睦互助会
- 14 女子会だより
- 15 安全だより
- 16 事務局より・編集後記

公益社団法人 **さいたま市シルバー人材センター**
 〒330-0801
 埼玉県さいたま市大宮区土手町1丁目213番地1
 さいたま市大宮ふれあい福祉センター 内
 Tel: 048-669-0303
 Fax: 048-669-0305

<https://saitama-sjc.or.jp/>

さいたま市シルバー

検索





新年のご挨拶

公益社団法人

さいたま市シルバー人材センター

理事長 佐伯 鋼兵

新年、明けましておめでとうございます。

会員の皆様並びに、センター事業にご支援・ご協力を賜っております関係者の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。平素より、当センターの運営と事業推進に多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、我が国では少子高齢化や人口減少が急速に進み、地域社会の担い手としてのシルバー人材センターへの期待は、これまで以上に高まっております。一方で、当センターの上半期の会員数は前年同期比で 55 人減少しましたが、女性会員の増加という明るい兆しも見られました。

こうした状況の中で、当センターでは会員の皆様が自らの能力や経験を活かして活躍できる「場」を整え、誰もが安心して参加できる仕組みをつくるため、「はたらく場」「まなびの場」「つどいの場」という三つの活動の柱をより充実させることを重点に取り組んでおります。

特に「つどいの場」においては、地域班やボランティアグループ、親睦互助会と連携し、「みんなのつどいの場」広げる会議を立ち上げ、会員が気軽に集い、交流を深められる新たな場づくりを検討しております。会員の皆様の知恵や経験を活かし、誰もが安心して参加できる活動を広げていくことが、この会議

の大きな目的です。全国的に会員数が減少する中で、こうした“つどいの場”の充実こそが退会抑制や新規入会促進の鍵になると考えております。

また、女性会員の活動の場を広げる取り組みとして「女子会」を開催するなど交流機会の拡大にも力を入れており、今年度上半期には女性会員比率が過去最高の 36.3%に達しました。

今後も会員誰もが活躍できる多様な活動の場を提供し、シルバー人材センターが地域に開かれた温かい組織であり続けるよう努めてまいります。

さらに、会員の高年齢化や事故が減少しない状況を踏まえ、「安全はすべてに優先する」という基本方針のもと、安全就業の徹底を改めて推進してまいります。安全講習や現場確認の強化を通じ、会員一人ひとりが安心して働ける環境を整えるとともに、地域からの信頼を高めていくことが重要と考えております。

結びになりますが、会員の皆様並びにご家族の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げますとともに、本年が皆様にとって実り多く、笑顔あふれる一年となりますよう祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

さいたま市長 清水 勇 人

新年、明けましておめでとうございます。

シルバー人材センター会員の皆様をはじめ、関係者の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃よりシルバー人材センターの皆様には、市政全般にわたり格別のご協力とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本市の人口は 135 万人を超え、平成 21 年から約 13 万人の増加となりました。0 歳から 14 歳までの子どもの転入超過数は、9 年連続で全国第 1 位を記録しています。また、令和 5 年に国立社会保障・人口問題研究所が発表した推計人口では、本市の人口のピークを 5 年程度先送りにすることができました。さらに、2050 年時点で 2020 年より人口が増加する指定都市はわずか 3 市しかありませんが、本市はその一つに数えられております。

こうして発展してきた本市でも、将来的には人口減少や一層の高齢化が進行し、市民の皆様の暮らしに様々な影響が生ずることが予想されます。人口減少や高齢化は止め難い課題ですが、これを可能な限り先送りし、人口変動の進行を緩やかにするための取組を粘り強く進め、本市を誰もが未来に希望(ゆめ)を描ける都市へとさらにシカさせていきます。

そのためには「誰一人取り残さない」とい

う SDGs※の理念に基づき、困難に直面する方々へのセーフティネットを確保するとともに、一人ひとりのニーズやライフスタイルが尊重される誰もが自分らしく生きられる地域共生社会の実現に向け、さらなる施策を展開してまいります。

シルバー人材センターにおかれましては、経験豊かで働く意欲のある高齢者が長く活躍できる「はたらく場」の提供に加え、「まなびの場」や「つどいの場」の充実、さらには、就業先の開拓や会員増強に向けてご尽力をいただいていることと存じます。高齢者の皆様が生きがいをもって活動でき、生涯現役として輝ける場を引き続き提供していただけますよう、心よりお願い申し上げます。

会員の皆様には、シルバー人材センターでの活動を通していきいきとご活躍いただき、いつまでも生涯現役として充実した日々をお過ごしいただくことを期待しております。

結びにあたり、新しい年が会員の皆様および関係の皆様にとって、健康で幸多き素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げます。また、シルバー人材センターのますますのご発展を祈念し、新年のご挨拶といたします。

※Sustainable Development Goals

持続可能な開発目標

令和7年度上半期事業実績

令和7年度上半期事業実績は次のグラフのとおりです。青が前年度、オレンジ色が当年度のグラフです。

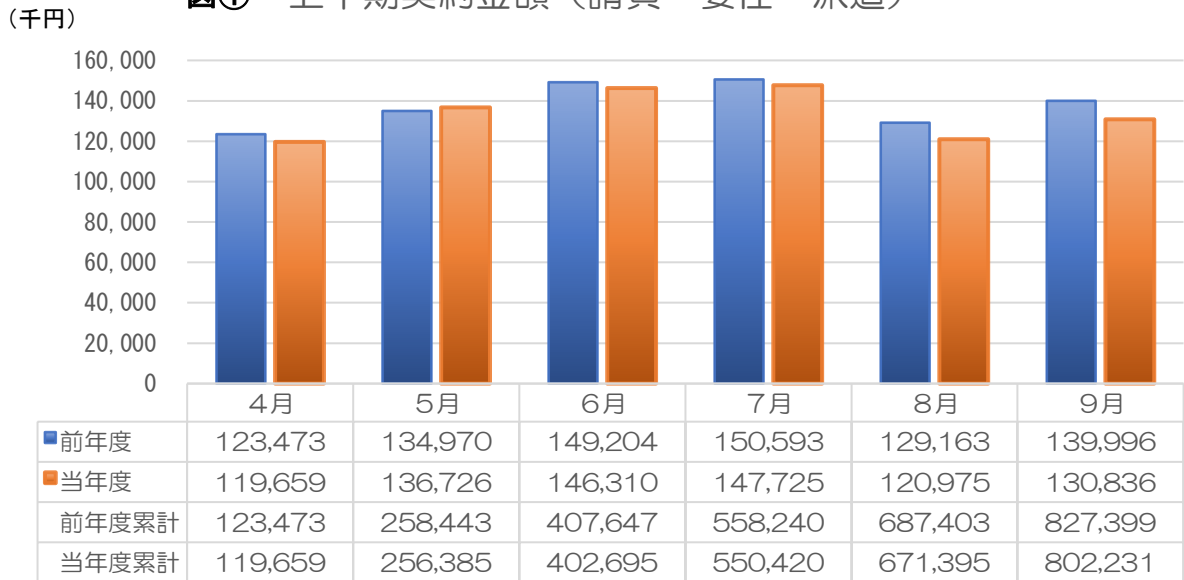
契約金額は9月までの累計が8億223万1,078円、前年比は96.96%で約3%の減となっています(図①)。

本年度4月より、植木剪定作業、除草作業について会員の安全等に配慮して就業

日数に制限を設けたことによる他、大手スーパーの就業がなくなったことが大きな要因です。

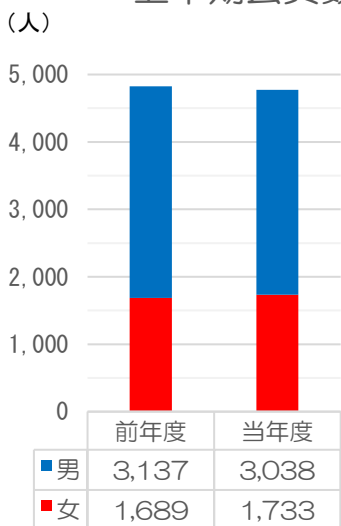
会員数は前年比ですと55人減となっていますが、全体では減少している中、女性会員数は44人増となりました(図②)。これにより女性会員比率は36.3%となり、過去最高を更新しました。(図③)

図① 上半期契約金額(請負・委任・派遣)



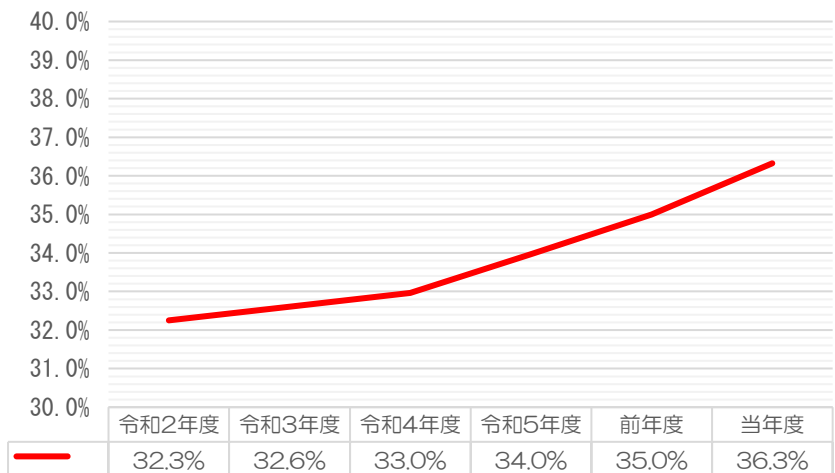
(単位:千円)

図② 上半期会員数



(単位:人)

図③ 上半期女性会員比率



各種講習・研修

次のような講習や研修を、令和7年に実施しました。

会員講習・研修

当センター主催の会員を対象とした技能及び資質向上を図る講習や研修です。

① コンプライアンス研修

2月17日 14人参加
会場・浦和ふれあい館

② 救命講習

3月11日 23人参加
会場・大宮ふれあい福祉センター
3月17日 27人参加
会場・大宮事務所
9月22日 17人参加
会場・大宮事務所
9月29日 15人参加
会場・大宮ふれあい福祉センター



③ 植木（松）剪定講習

3月12日 17人参加
会場・市内小学校



④ 接遇研修

3月12日 43人参加
10月2日 37人参加
会場・浦和ふれあい館



⑤ 植木安全就業研修

3月24日 40人参加
会場・大宮ふれあい福祉センター



⑥ 安全刈払機取扱い研修

7月22日 19人参加
7月23日 10人参加
会場・岩槻本町公民館
七里総合公園



⑦ アンガーマネジメント研修

アンガーマネジメント研修とは、怒りの感情をコントロールし、より良い関係性に繋げる研修です。

10月27日 11人参加

会場・大宮ふれあい福祉センター



⑧ モチベーション向上研修

10月31日 7人参加

会場・浦和事務所



⑨ パソコン講習

初めてのパソコン

9月3～5日 2人参加

会場・大宮事務所

初めてのパソコン

10月21～23日 4人参加

会場・与野事務所



市民向け研修

当センター主催の一般市民向けの研修です。修了式後に入会説明会を実施し、植木剪定に従事する会員の確保に努めました。

植木職人養成研修 38人参加

座学 6月27日

会場・にぎわい交流館いわつき

実技 6月30日、7月7日

会場・槻寿苑

修了式 7月8日

会場・にぎわい交流館いわつき



高齢者生きがい活動 センターの講習・研修

さいたま市シルバー人材センターが指定管理者として管理している高齢者生きがい活動センターの事業です。

さいたま市内の高齢者に対し、各種研修及び技術指導を行うことにより、就労の支援や地域活動を援助します。

会場は全て高齢者生きがい活動センターです。

① スマホ体験教室

1月22日 10人参加

② 障子張り講習

2月21日 10人参加



③ 筆耕講習「写経書き」

2月17日、21日、3月7日、10日
31人参加

9月30日、10月7日、10日、24日
18人参加



④ 傾聴ボランティアスキルアップ講座

7月2日、4日 30人参加

⑤ 傾聴ボランティア養成講座

9月26日、29日、10月3日、6日、
8日、17日、20日、27日 41人参加



⑥ パソコン講習

エクセル入門

1月28～30日 7人参加

パワーポイント入門

2月5～7日 10人参加

初めてのパソコン

6月3～5日 10人参加

初めてのパソコン

7月28～30日 5人参加

ワード入門

8月12～14日 7人参加

エクセル入門

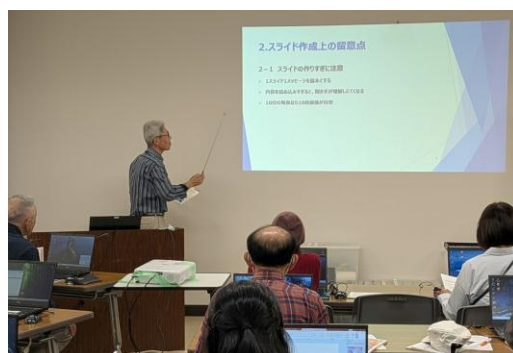
10月29～31日 10人参加

パワーポイント入門

11月5～7日 15人参加

エクセル入門

12月3～5日 5人参加



パワフルウーマン

桜区にお住いの加藤洋子さんにお話を伺いました。結婚してから専業主婦一筋でしたが、子育ても落ち着いたこともあり、元来庭いじりが大好きだったことでそれに関連した仕事があればと模索していたところ、たまたま近所で除草の作業をしていた方からシルバー人材センターを通して来ていることを聞き、センターの概要を調べたそうです。そして、ご自身で浦和事務所を訪ね、職員からの説明も受け即刻会員登録をすませ、同時にタイミングよく就業も出来たそうです。

業務のあらましは、直接班長から FAX で連絡を受け、現場には自転車で向かうとのこと。「就業人数は現場の規模により変動するが、10 名前後で対応している」と言われました。就業時間は朝 7 時 30 分から 3～4 時間、時には弁当持ちで 14 時までかかることもあるとのこと。

就業時での注意するところはまず草刈り機を

使用する場合、操作者から最低 5 m は離れる
又、交通量の多い場所では通行人、特に車両には最大限に注意を払う。又、夏場の暑さ対策、屋外の作業が中心なので体調の変化には特に気をつけているとのこと。

就業に対しての喜びは「お客様から頂く感謝の言葉が一番うれしい」と言われました。それと作業終了時の達成感、先輩たちと一緒に味わえるこの時間が最高とのこと。

趣味は、「山岳部の仲間と登山に行くこと。少し膝の故障を抱えながらも月 1 回は行く、最近では、尾瀬沼、島根県まで行った」そうです。その他、ウォーキング、水泳、庭いじりと日々パワフルに活動されております。

(取材・吉川編集委員)



会 員 紹 介

浦和会員 加藤 洋子さん

手づくりシャツが とてもお似合いです

本町にある大型ショッピングセンターの近くにある「スキップ本町保育園」で、園児たちの出入りの見守りをされています。園出入口で朝と夕に 1 時間ずつ、「おはよう」「さようなら」と園児へ声をかけています。「雨の日や暑い日は大変だけれど、でも、子供たちの可愛い笑顔をみると大変さも忘れられる。ホントに可愛い!」。5 人でローテーションを組み、週に 2 回、月に 8 回程度働いています。

就業はもう 2 年程続けています。シルバー人材センターに登録した 2～3 日後に依頼があつて、即決。「家から近い保育園だし、私にはちょうどいい仕事」だからだそうです。

活発で活動的、行動派の早丸さん。例えば、週 1 回のボウリングを 20 年続けています(もううまくはならないそうです)。

また、月 1 回、お茶のお稽古も続けていま

す。そして、毎日できるだけ歩くようにしています。ただ、この夏はさすがに暑すぎて駄目だったとか。さらにシルバーの「女子会」にも参加されています。

手芸の「芙蓉会」に入ってから半年ほど。月 2 回集まって、編み物や小物づくりなど、手作業を楽しんでいます。「手芸、大好き! 今着てるこのシャツも自分で作ったんです。細かい手仕事が好き!」。

日々、心がけていることは、よく笑うこと。「笑うのは体にいい。よく笑っている気がしますね」。

(取材・小野塚編集委員)



会 員 紹 介

与野会員 早丸 弘子さん

「心地よさ」を届ける

公園清掃！

岩槻城の跡地で、自然と歴史が調和する憩いの場、「岩槻城址公園」の清掃に就業している黒澤さんです。

シルバー人材センターへの入会は令和2年。現役時代は東証プライム市場に上場している精密機器メーカーに63歳まで勤められました。

公園の清掃業務は2年前から就業されています。メンバーは12人で2班に分かれて月に10日～12日程度とのことです。年齢層は70歳～83歳で、黒澤さんは70歳の最年少ですが、リーダーとして活躍されています。

就業上特に気を配っていることは、夏季の猛暑日などにおける「熱中症」対策で、こまめの水分補給など朝礼で徹底するようにしているとのことです。特に今年は例年になく暑い日が多くあったが、メンバー全員元気で業務

会 員 紹 介

岩槻会員 黒澤 信之さん

を遂行できているとのことでした。

黒澤さんいわく、岩槻の代表的な城址公園をきれいにすることは、来園する方たちに「心地よ

さ」を届けることができるので、仕事に

対する「やりがいと充実感を感じる」と話されていたのがとても印象的でした。自身も「緑の中で全くストレスなく気持ちよく楽しんで仕事していますよ!」とおっしゃっていました。

趣味は特にないとのことですが、車で奥様と毎日のように買い物に行くのが楽しみのようなうです。

(取材・小松編集委員)



県下最大級の住宅展示場

さいたま新都心の大型商業施設が林立する一画の広大な広場に「さいたま新都心コクーンシティ住宅展示場」があります。ここのインフォメーションに橋本さんと今泉さんを訪ねました。

「日経社ハビタ21は、総合住宅展示場の企画・運営をしています。東京、埼玉、千葉、新潟、石川などで地域に根差した総合住宅展示場を手掛けています」「コクーンシティ展示場には、現在28棟(23メーカー)のモデルハウスが展示されており、展示棟数で埼玉県下最大級です」とのことでした。

ここは駅や商業施設に近く、立ち並ぶ各々趣の異なったモデルハウスをみて歩くのも楽しそうで、場内には来訪者が多く見られます。インフォメーションでは出展社との連絡、来訪者の案内、駐車券の精算など人の出入りが断えません。お二人に印象に残ったことをお

お 客 様 の 声

株式会社日経社ハビタ21様

尋ねると、「この展示場で理想の家を見つけて成約しました、とお聞きすると嬉しいですね」と言われました。

「展示場ではシルバーの3人

が就業しています。場内に3ヶ所あるトイレと喫煙所を中心とした清掃業務です。ここは年中無休ですが、天気に関わらず元気に働いています。皆さん仕事が丁寧で、出展社の方からもお褒めを頂いています」との嬉しい言葉をお聞きました。

(取材・後藤編集委員)



(左から) 今泉さん、橋本さん

創立1946年

校訓「実学に努め徳を養う」

さいたま市南区に位置する学校法人九里学園事務室藤川正彦様にお話を伺いました。中学校と高等学校が併設されており、特に高等学校の硬式野球部は昨年第97回選抜高等学校野球(甲子園)大会でベスト4と輝かしい成績を残されました。

「シルバー人材センターのことは30年前から知っており、前勤務先の浦和大学もシルバー人材センターを利用していた」と言われました。

5年前から浦和実業学園に移られ「以前から期待通りの仕事をしてくれているので安心して任せられる」とのお言葉をいただきました。就業内容は「清掃が主であるが、用務員的な仕事(簡単な修繕など)を依頼している」とのことです。「時間は朝8時半～16時半、週3日～6日を9人のローテーションでそのシフ

お客様の声

浦和実業学園中学校・高等学校 様

トと各校舎の受け持ちなどもリーダーに任せている」と、会員への信頼の厚さを強く感じました。又、就業会員に対してその働きぶりは見習うべきところもあり、時には仕事に集中しすぎて、夏場は熱中症にならないかと気を使っていたようです。

「それぞれ年齢を感じさせないくらい気は若いですが、体力面を考えて無理のない働き方をして頂きたい」と言われました。そしてセンターへの要望として「現状の維持と労働環境にも気を使い、コミュニケーションを大切にし、継続して下さい」とのことでした。



(取材・吉川編集委員)

大型駐車場で培った 長年の実績と信頼

何ともう30年近くの長きにわたってシルバー人材センターの利用を継続されているという与野都市開発株式会社にお話をうかがいました。

同社は、北与野駅北口市街地再開発事業により建設された再開発ビル(アルーサショッピングモール)の管理及び運営事業を目的として1989年に設立されています。

シルバーに依頼されているのは、「さいたま市営北与野駅北口地下駐車場」の業務。その名の通り北与野駅前のロータリーの地下に広がる156台も駐車できるビッグスケールの駐車場が職場です。

従業員の勤務体制に合わせて、総勢13名のシルバー会員が5人ないし3人で日々のローテーションを組み、月に10～12日ずつ就業しています。就業時間は6時30分から23時15分までで、4時間交代のローテーシ

お客様の声

与野都市開発株式会社 様

ョン就業です。仕事は、管理室での受付、駐車区画へのご案内、料金精算時のお客様対応、駐車場施設等の管理等を行います。

「皆さん長く就業されていて、駐車場の

業務形態を良く理解されています。丁寧な仕事ぶりで大変助かっております。」小池さん)。

あらためて長年にわたる実績と信頼を強く感じると共に、そこには代々のシルバー会員の頑張りようがあったからこそ！と言うことができるでしょう。

(左から)
代表取締役 柳田 雅彦さん
業務副主幹 小池 由紀子さん



(取材・小野塚編集委員)

地域活動の更なる

拡大を目指して

浦和区第一地域は浦和区の北部に位置し大宮区に隣接する広範囲を受け持ち 11 班（内女性地域班長 2 名）会員数 201 人（10 月 1 日現在）で構成されております。

地域会議・奉仕活動は年 2 回、班長会議は年 4 回開催する様、努力しております。4 月の班長会議では前年度の決算報告と実施内容の確認、反省を行い、続いて当年度の計画を周知しております。地域会議や奉仕活動では大勢の会員の方々に気軽に参加頂ける様短時間での開催を心がけています。先ずは地域活動に参加頂くことで、シルバー人材センターをより身近に感じて頂き、仕事にも気軽に挑戦していただければと思っております。コロナ以前は地域会議に 60 名を超える参加者と奉仕活動に 25 名に近い参加を頂いておりましたが、再開後の減少が心配されます。

地 域 班

浦和区第一地域 市川 優

班長会議時に地域活動の参加者一覧表を配布、会員ニュース配布時等機会をとらえ声掛けする様お願いしております。下期は 11 月に奉仕活動を、2 月には地域会議を予定。当日のテーマは 4 月より自転車の交通ルールの改正が行われることもあり警察による「交通安全」についての「出前講座」をお願いしております。これからも地域で出来ることを班長と共に考え、会員の方が気軽に参加頂ける地域活動にしていきたいと考えております。ご協力よろしくお願い致します。



中央区第二地域の活動について

中央区第二地域は、与野本町駅と南与野駅の間にある地域です。中央区鈴谷には、与野の大カヤがあり、樹齢 1000 年と伝わる、関東随一のカヤの巨木で、国の天然記念物に指定されています。

第二地域の会員数は現在 149 名、7 班で構成されています。私は昨年 6 月から地域長になりましたが、何もわからない新しい仕事なので、地域班長さんに作業分担をお願いし活動しています。

年間の活動は、地域会議・奉仕活動共に年 2 回実施しています。1 回目の地域会議は 4 月に地域包括支援センターを招き、免疫力アップの方法や認知症予防。2 回目は浦和西警察署から、自転車の安全利用、マイナ免許証、交通反則通知制度の開始等の講話がありました。

奉仕活動は 1 回目を 5 月に与野中央通り

中央区第二地域 小川 正

やたつみ通りの清掃を実施しました。2 回目は 11 月に大戸公園の落ち葉清掃作業を実施しました。

これからも地域班長と会員の皆様のご協力をいただきながら、地域活動を実施していきたいと思ひます。



親睦互助会

互助会サロン紹介

浦和支部 畑 佳一郎

浦和支部では、浦和事務所3階会議室をお借りして、互助会活動の活性化と会員の事業参加率向上を目的とした「互助会サロン」を開催しています。「互助会サロン」は同じ趣味を持つ仲間が集い、お茶を飲みながら楽しくおしゃべりをして楽しい時間を過ごす「場」として月に1回程度活動しています。

「互助会サロン」は令和2年6月から活動を開始し、現在は、健康麻雀で頭の体操、仲間とのおしゃべりを楽しむ「麻雀同好会」。将棋で頭の体操、仲間とのおしゃべりを楽しむ「将棋同好会」。暇つぶしから始まって完成させることの喜びを超越し、チャレンジ精神を生じさせ若さを蘇らせる「漢字クイズ研究会」。日常会話、海外旅行に必要な最低限の英会話、町で外国人に話し掛けられた時の対応の仕方などを楽しく遊ぶ「英会話同好会」。

Android のスマホ向けに、操作の基礎から便利な経路案内、乗換案内や LINE の使い方を学ぶ「スマホ教室」。17 文字でその時の感情、感動や日常を書き留めてみたい、難しいことは抜きで楽しむ「俳句同好会」。以上 6 つのサロンが在り、年間延べ約 500 名近い会員が楽しんでいます。



「小諸なる古城のほとり」へ

当日大宮はあいにくの曇り空。今回は、大宮事務所の鶴川所長が同行した。参加者は会員 40 名でバス 2 台。

バスは予定時間に大宮駅西口のシーノ大宮前を出発。ガイドさんの挨拶のあと、早速ビールなどの飲み物が配られ、いよいよ旅が始まった。

桶川北本インターから高速へ入る。この辺りから青空が見え始める。目的地のひとつ、長野県小諸市の「懐古園」へ到着。暑いぐらいの晴天で、雨の予報とは大違い。島崎藤村の「小諸なる古城のほとり」の詩の舞台となったところである。詩の一節を思い出しながら、ゆったりとその雰囲気に関心したいが、広い城址公園。時間に追われる団体旅行で儘ならず。藤村の気持ちを味わうには出直すしかないようだ。

そこから昼食の蕎麦屋「丁子庵」へ。評判に違わず、香りのよい美味しいそばをいただく。日本酒の「千曲錦」酒造所では、美味しいお酒の試飲。ワインかと思われるお酒もあり、呑み助は堪能できた。

大宮支部 荒川 義一

群馬県の「こんにゃくパーク」へ。2 階通路から見える工場内は、無駄なものが一切見えず、床は磨き上げられ光っていた。その先には試食できるバイキングもあり、カロリーの低い食品を堪能しているグループもありと盛況であった。

帰路も道路は順調。シーノ大宮前には予定時刻に到着。

全員元気で、来年は千葉方面に行こうといながら笑顔で家路に向かった。



新たなる活動 「健康麻雀クラブ」

暑さも一段落した 10 月に毎年好評の「研修バス旅行」を実施しました。今年は千葉県「水郷・佐原」と「東国の三社・香取神宮」を巡るツアーでした。佐原では、水郷の舟巡りを楽しみ、歴史ある街並みを散策。

香取神社では、杉の木が生い茂る神域にある神殿で参拝をするなど参加者全員有意義な 1 日を過ごしました。

11 月早々には、恒例の中央区区民まつりが開催され、親睦互助会からも出展参加をしました。久しぶりに実施した「バザー」は皆様のご協力のもと大いに盛り上がり、大きな成果を収めることができました。

そして、今年新しく立ち上げた「健康麻雀クラブ」が 9 月に第 1 回の「麻雀大会」を開催しました。16 名のメンバーが参加して、入れ替わりをしながらゲームを楽しみました。

その他、支部のグラウンドゴルフ大会も開

与野支部 西澤 誠

催されました。

親睦互助会与野支部は、会員の皆様のご協力のもと多彩な活動を行うことが出来ました。

これからも会員の皆様との親睦と健康を大切に頑張ってまいりたいと思います。

よろしくお願いいたします。



秋の日帰り旅行と グラウンドゴルフ大会

岩槻支部みどり会では 9 月 27 日(土)に秋の日帰りバス旅行で秋晴れの秩父の秋を散策してきました。

秩父夜祭は有名ですが、まず訪れた「秩父まつり会館」では夜祭に曳行される豪華な笠鉦や屋台の実物展示、プロジェクションマッピングの映像と音の効果により街中で見物しているようでした。まつり会館から歩いて「秩父神社」に参拝しました。荘厳な権現造りの社殿には左甚五郎作と伝えられる見事な彫刻がありますが、その内の「お元気三猿」と呼ばれる彫刻は日光東照宮の三猿「見ざる、聞かざる、言わざる」とは逆で「よく見て、よく聞いて、よく話そう」の姿をしています。シルバーの安全標語を思い出しますよね。

場所を変え、ぶどう狩りで巨峰をお腹いっぱい頂いた後、もう一つの目的地「長瀬」に向かいました。しかし、残念ながら荒川の水量が少なく急流域でのライン下りは体験で

岩槻支部 笠原 和男

きず岩畳近くで和船に乗り兩岸の溪谷を眺めながらのんびりとリフレッシュしました。帰りは特に渋滞に遭うことなく予定通り岩槻駅に到着し楽しい一日を終えました。

また、11 月には「第 1 回みどり会グラウンドゴルフ大会」を愛好会の協力により岩槻文化公園にて開催しました。31 名の参加者で優勝杯と豪華賞品(笑)を目指して真剣勝負！笑い声と応援が飛び交い元気いっぱいの大大会となりました。



女子会だより

女子会とは、女性会員自らが主体となり交流の場を設け、会員活動を活発化させることで、女性会員の入会促進、仲間づくりなどにつなげるため実施しているものです。

昨年度に引き続き、女性会員の比率4割！を目指そうとした目標を“女性（J）会員（K）比率4割”の頭文字をとりジェイケイフォー J K 4 計画とし、スローガン「もっと輝け♥シルボンヌ ～J K 4 計画～」のもと活発に活動しています。

事務所別の活動が中心ですが、センターの女性会員と市内の60歳以上の女性が対象の女性会員交流会も開催しています。「印象力アップ講座～第一印象がよく見える秘訣～」というテーマで募集をしたところ、ご好評いただき受付開始から1週間ほどで定員に達しました。当日は会員43名、一般市民8名に出席いただき、講座の後は茶話会を開催し、なごやかに交流を図りました。

引き続き1月と2月にはフラワーアレンジメントと茶話会の女子会を企画しています。



女性会員交流会

(2025.12.3 レイボック ホール RaiBoC Hall)

開催案内は会員ニュースに合わせて配布いたします。多くのご参加をお待ちしております。



「エッグポマンダーづくり」

(2025.10.7 与野事務所)



♥ 令和7年度の開催 ♥

(令和7年10月1日～令和8年3月31日)

女性会員交流会

令和7年12月3日(水) 13時30分から
レイボック ホール
(会場：RaiBoC Hall)

花咲く女子会～笑顔咲かせるひととき～

令和8年1月26日(月) 13時30分から
(会場：浦和コミュニティセンター)

令和8年2月9日(月) 13時30分から
レイボック ホール
(会場：RaiBoC Hall)

<浦和事務所>

健康応援講座予定

令和8年2月26日(木) 13時30分から
(会場：浦和事務所)

<大宮事務所>

食事会で親睦を深めよう♪

令和7年11月25日(火) 11時から
(会場：市内レストラン)

<与野事務所>

エッグポマンダーづくり

令和7年10月7日(火) 13時30分から
(会場：与野事務所)

<岩槻事務所>

健康体操予定

令和8年2月25日(水) 13時30分から
(会場：にぎわい交流館いわつき)

安全だより

令和7年度上半期事故状況は右記のとおりです。前年度と比較して、傷害事故と賠償事故が減少、車両事故は1件増加、合計は20件で8件減少しました。

令和7年度上半期は、傷害事故では転倒による事故が最も多く発生しました。屋外軽作業や清掃作業中に段差やコード、脚立などにつまずいたり、バランスを崩して転倒したりするケースが多く、特に高齢会員の骨折事故が目立ちました。日常的な安全確認と慎重な動作、作業現場の環境整備が重要です。

賠償事故では、植木剪定作業中の事故が中心でした。行き違いから植木を切りすぎたり、刈払機による飛石で車両のガラスを破損したりするなど、作業前の打合せ不足や周囲への配慮不足が原因と考えられます。安全区域の確認や発注者との意思疎通を徹底し、作業開始前の準備を怠らないことが求められます。

車両事故については、駐車や方向転換時の接触が多く、塀やポール、他車との接触が主な原因でした。バック時の誘導や周囲確認の徹底が不可欠です。

全体として、いずれの事故も「確認の一手間」で防げるものが多く、安全意識の継続が事故防止の鍵となります。

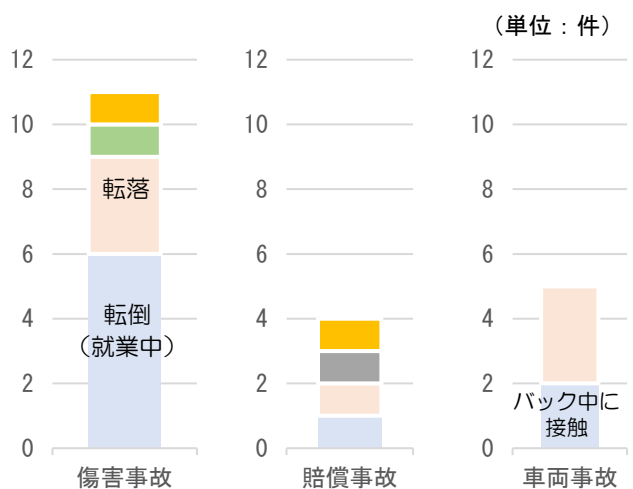
一人ひとりの注意と声かけが、安全を守る第一歩です。安全を最優先に、安心して働ける環境づくりを進めましょう。

令和7年度上半期事故状況

(令和7年4月1日～9月30日)

(単位：件)

	傷害	賠償	車両	合計
7年度	11	4	5	20
6年度	18	6	4	28
増 減	-7	-2	+1	-8



傷害事故		賠償事故		車両事故	
転倒(就業中)	6	過剰剪定	1	バック中に接触	2
転落	3	飛散させた物で損壊	1	その他の接触・衝突	3
交通事故(途上)	1	誤操作	1	合計	5
蜂さされ	1	破損	1		
合計	11	合計	4		

(単位：件)

令和7年度・令和8年度

さいたま市シルバー人材センター安全スローガン

- ・再確認 だろう・つもりが 事故を呼ぶ
- ・慣れ仕事 緩む気持ちで 事故のもと

事務局より

会員拡大に向けて——「みんなのつどいの場」広げる会議

本年度、会員拡大の新たな取り組みとして、「みんなのつどいの場」広げる会議を立ち上げました。この会議は、会員の皆さんが活動している「場」をさらに“深める”

“創る”という二つの“広げる”視点から、誰もが気軽に参加できる場づくりを検討するものです。

シルバー人材センターでは、「はたらく場」「まなびの場」「つどいの場」の三つの活動の場を通じて、生きがいと健康の維持、仲間づくりを推進しています。今回の会議では、地域班やボランティアグループ、親睦互助会と連携し、来年度の事業計画やアクションプランを作成するのが目的です。

全国的に会員数は減少傾向にあり、さいたま市でも平成30年度と比べ、約400人減少しています。全国シルバー人材センター事業協会では、令和7年度から12年度までの6年間で会員純増10万人を目指す「新たな仲間づくり計画」を策定しており、本市の目標は年間約100人の増加です。

一方で、仕事以外の活動に参加する会員も多く、昨年度の活動率は83.2%。女性会員の交流企画「女子会」も好評で、女性比率は35.3%と過去最高を記録しました。

今後は、地域を越えた交流や新しいイベントの企画を通じて、誰もが安心して参加できる「つどいの場」を広げていきます。会員の皆さんが楽しみながら参加できる場づくりを進め、「入会してよかった」と感じてもらえる魅力あるセンターを目指します。

10月開催の第2回会議ではメンバー等から寄せられた企画案を短期・中期・長期に分類し、優先度を検討しました。選出された重点企画は12月開催の第3回会議で来年度事業計画案としてまとめられました。今後、この案を理事会へ提案してまいります。

「みんなのつどいの場」広げる会議メンバー

総務部会 理事2名

地域長 各事務所から1名 計4名

親睦互助会 各支部から1名 計4名

傾聴ボランティアグループ代表 1名

編

集

後

記

新年あけましておめでとうございます。

地球温暖化が元にあるからでしょうか、昨今の気候変動が激しく、「春夏秋冬」が「夏冬」になってしまったような日本ですが、新しい年はいかがなものでしょうか。

本誌では、取材ページの文字数や活字の大きさを調整するなど、読みやすくわかりやすくを心がけてレイアウト調整を行いました。ご覧になっていかがでしたでしょうか。そんな紙面へのご意見ご感想をお寄せいただければありがたいと存じます。

(編集委員会)

表

紙

岩槻人形博物館

人形の文化を国内外に広く発信するため2020年にオープンした日本初の公立人形専門博物館です。

昨年、開館5周年を迎え、日本有数の人形産地である“人形のまち岩槻”として、人形の魅力をお届けしています。